

2011.8.15

Contents

【フラット35】S
1%金利優遇の方針

住まいづくりの究極の選択

- HABITAな風景
- 住まいは巢まい
- キニナルマドリ
- 住まいのオーダーメイド館403
- 住まい文化の葉
- 住健住康
- Green Earth
- office HABITA
- 豆ハビ
- 5th ROOM



HABITAな風景

小さな芸術

工事中の現場を見るのが好きだ。
自分の家じゃなくても
じっくり見てしまう。
どんな構造なんだろう
どんな間取りなんだろう
どんな家族が住むんだろう
と想像が膨らむ。
汗ひっしょりで
ガレージの床をつくっている
職人さんを見つけた。
不規則な大きさの石を
見事に並べる。
きっと、図面なんかないんだろう。
職人のセンスは、小さな芸術。
作っているところを見ないと、
この大変さには気付かなかった。
もしかしたら、
じっくり探してみると
私の家にも小さな芸術が
あるかもしれない。

三澤 千代治の

住まいは巢まい

現代文明の負の遺産

残暑お見舞い申し上げます。
大震災に続く、福島原発事故以後、現代文明への反省が話題になっています。

現代文明は、その維持と発展のために巨大なエネルギーと物質を消費しています。その結果、地球環境は破壊され続け、それが様々な異常現象を引き起こすようになっていきます。

例えば、ちょっと前の話題ですが、オゾン層の破壊があります。有害な紫外線を吸収し、地上の生命を保護するオゾン層がフロンガスによって破壊され、皮膚がんや白内障の発生率が増加し、免疫機能が低下するなど人間の体に深刻な影響をおよぼすと警告されていました。現代文明の恐ろしい一面が浮き彫りにされた一例です。また、地球の温暖化も文明がもたらした異常現象です。なんでも100年前にくらべて地球の平均気温は0.5℃上昇しているといわれています。石油などの化石燃料を大量に燃やしてきたため大気中の二酸化炭素の濃度が異常に高くなったことが原因です。二酸化炭素は熱を吸収して放出しない"温室効果"があるため、その二酸化炭素に覆われた地球はどんどん温められていくというわけです。

地球温暖化対策の切り札が、原発であったのも、皮肉です。豊かさや効率、経済性を追求してきた、現代文明への反省をしなければ。

(MISAWA・international 社長)

Weekly HABITA 057

国土交通省が緊急の経済対策として進めてきた、住宅ローンの1%金利優遇策について新たな方針を発表した。独立行政法人住宅金融支援機構が手がけている長期固定金利型住宅ローンの【フラット35】Sを対象として2011年12月申請を目途に金利優遇を拡大してきた。来年度も継続を前提としているが、優遇幅を縮小し、利用者の必要額に対して借入比率も圧縮される。

見本

このチャンスを活かす!

今回の方針によって明確になったのは、2011年内の住宅取得が現状では最も有利であること。しかも、申込期限の前倒しの可能性もある。

長期固定金利の【フラット35】Sの申請は、金利優遇策もあり、昨年2月から今年3月までに約19万件となった。予算枠としても3兆円分を融資したことになる。既に当初の予算枠のほぼ上限に達しつつある。このため、1%の金利優遇の申請期限を2011年12月としてきたが、早ければ9月末か10月末に前倒しする可能性がでてきた。国土交通省は、景気にも影響

を与える住宅投資を下支えするために、数百億円から1千億円程度の経費を、第3次補正予算案から来年度の予算案に計上する方針である。申し込み期限が今年いっぱいと考えていると、申請枠が無くなる可能性がある。

金利優遇期限前倒しに【フラット35】S 1%金利優遇の行方

【フラット35】の住宅ローンとは、最長35年間固定金利で融資する制度である。現状2%台中盤の金利が多く、民間の3%前後より割安である。さらに【フラット35】Sでは、省エネや耐震などの条件を満たすと、12月申請分までは当初10年間1%

の金利引き下げ策がとられてきた。この場合には住宅ローンの金利が1%台中盤となる。この利点が利用者呼び、申請が殺到したと思われる。

有利な住宅ローンを進めることは、民業圧迫と言う批判も強いが、経済対策としての価値は高く、金利優遇の施策は来年度も継続される予定である。ただし、金利引下げの優遇幅も現在の1%から0.5%前後か、最低でも、0.3%の優遇枠を残すこととしている。

また貸出比率も、言わば全額ローンである100%から、70~80%に下げられる予定である。これにより民間銀行の

ローン利用を増やす対策になる。いずれにしても、条件は現状よりも悪くなると言ってもよい。

低金利の時代の住宅ローンは、できる限り最大限に活用するのが上手な使い方である。資金に余裕があれば、繰上返済をすれば調整できるが、今を逃しては低金利で融資を受けられるチャンスはない。住宅取得を検討している人は、このチャンスを逃してはならないであろう。

借りるのが得か、持つのが得か。住まいづくりの究極の選択

家は借りて住むのが得か、それとも自分で所有した方が得か迷うところです。現実的に借家を選ぶ人は10%前後で、持ち家思考が圧倒的に高いのですが、借家を選ぶ人が増加傾向にあります。車などの消費財は、使用しない・持たないという選択もありますが、家は持たないという選択ができません。消費財は簡単な計算で比較することも可能ですが、住宅が耐久材であることも複雑です。しかし、結論は意外な所にあります。しかもまさに私たちは現在そのターニングポイントに立っています。果たして住宅は借りるのが特なのでしょうか、それとも持つのが得なのでしょうか。

住まいを持たない人はいない

ハンガリー生まれの著名な数学者へのインタビューに立ち会うことができました。表題の命題に対して、明白な答えを伺うことができました。

父からの教訓で「財産を持つな」つまり持つことを禁じられていると言います。しかし、実は父の言葉の真意は「何よりも君の頭の中に財産がある」と言うこと。こうして父は天才を育て、その言葉を忘れずに子が守っているのです。素晴らしい話でした。

一方、そう簡単に判断をできない日本人の現実が、データに現れています。借家が良いとすると人の比率は、平成10年に7.9%であったものが、20年には9.6%、さらには22年には11.7%まで上がっています。しかし、依然として9割近くの方は持ち家を志向しているのです。いくつかの単純な計算を試みなければ納得はできないでしょう。

最初に単純に考えてみるのは、家賃との比較です。車などの場合は、何よりも持たないという選択ができますが、住宅の場合はそうはいきません。持ち家がなければ、常に家賃を支払わなければ生活を保てません。その支払っている家賃を、ローン返済金額に換算して確認してみます。



家賃に該当する家の値段

新築住宅のローンである【フラット35】Sの1%金利優遇で計算すると、借入100万円あたりの35年間の固定返済額は3,600円強です。つまり月々36,000円の家賃で、1000万円の借入に相当するということ。家賃が10万円であれば約2,800万円の住宅を購入しているのと同じということです。

全国の持ち家の家族1人当たりの

居室畳数の平均は12.87畳です。4人家族であれば51.48畳に住んでいることとなります。それに対して、同様に全国の平均の1畳あたりの家賃価格は、民間であれば木造で2,688円、非木造では3,980円とあります。このデータから家族4人の住む家賃を計算すると、木造アパートで13.8万円、コンクリート造等では20.5万円となります。この家賃は3,800万円から5,700万円の住宅ローンに相当します。

さらに都市と地方の平均から算出すると、家族4人が住む都市部の木造アパートの平均家賃は5,500万円、コンクリートでは7,200万円に相当します。地方でもそれぞれ3,300万円、4,900万円相当です。

この計算は持ち家の平均面積から計算しています。借家はこれよりも狭いことが多いので、この価格が高く感じる借家住まいの方も多いたと思います。あくまでも持ち家を基準に相当した広さの家賃を払った場合とすることです。狭い空間に暮らさなければ、この限りではありません。

資産が本当の価値になる

またメンテナンスや租税などを考えると、借家の方が得という考えもありますが、どうでしょうか。たとえば仮に

借家のオーナーの身になって考えれば、これらのランニングコストを含めて家賃設定をしましょう。借家人に得をさせて、自分が損をする事業を営むことは通常考えられません。十分に採算が取れて得するからこそ事業になります。突き詰めれば事業主の借入を、借家人が代替わりして払っているのと同じです。

さらにローン返済を考慮に入れると、返済後は支払いが一切なくなると同時に、住宅の資産が残ります。つまり、支払い続けた費用は貯蓄されているのと同じです。一方借家では、自分の存在が無くなるまで家賃は続きます。支払った分は一切残りません。

つまり、ここまでの条件では、持ち家の方が金銭的には圧倒的に得になるということです。

逆に買い得の物件を簡単に検証する目安も明白です。購入にローンを組

んで、その返済額が周辺の家賃相場よりも安ければ買い得物件です。いざという時には退居して人に貸せば、借家人が自分のローンを返済してくれることとなります。そもそも資本主義はその名の通りに、資本を持っていることが有利になる仕組みです。根源的には持ち家の方が得なのです。

しかし例外的な事象があるからこそ迷いも生じます。それは、住宅の資産価値が守られるか否かによるのです。その条件は、世界の国や制度や慣習などによって左右されます。日本という国は、果たして得する国なのか、損する国なのでしょう。

資産を守ることができるのか

家を持つことが不利になる、端的な事例は戦争です。最初に触れた偉大な父親はハンガリーでその体験をしました。戦争で破壊されても侵略されても、まうものがより大きいのは資産を持つ人です。それでも命があれば再起も可能です。物や金銭の財産を持つことよりも頭の中の知恵を財産としたのは、戦争の経験から生まれたことなのでしょう。

戦争と言う意味では、日本は60年以上戦争を体験していない、世界でも稀な平和国家です。その意味では、住宅を持つ方が得な国に暮らしているのだと言えます。

しかし、財産を失うきっかけとして災害があります。今回の東日本大震災は忘れられるものではありません。とくに津波による被害は、再建する場所を失うと言う意味では、建物だけではなく土地の資産も失ったこととなります。

日本に災害が多いのであれば、持ち家は不利となります。しかし特に災害が多い地域であれば、歴史的にも居住は続かず寂れるのが当然です。日本が世界の中で特別に災害の多い国とはとても思えません。

ただし、こうした災害被害に対しては、資本主義社会ではあくまでも個人の資産は個人で負担するのが基本になっています。その中でも問題になるのは、ローンの残額への対処です。資産は失いながら借金だけが残れば、被災後の住まいを借りてもローン返済と重ねて払わなければなりません。もともと借家を選んでいる人は、新しい家賃だけで済みます。

ただし、こうした激甚災害に際しては2011年度7月第2次補正予算で744億円の2重ローン対策の予算が

成立しました。詳細は不明ですが、少しでも資産が守られる国であることがわかりました。

国民の資産が守られることは、国民の安全を守ることに続いて、国としての最も根源的な問題のひとつです。国民の資産が守られることは、そのまま国が富むことに直結しています。住宅施策を国策のひとつに加えるのはこのためです。

住宅資産を大切にしているか

また、不動産の商慣習も影響を及ぼします。端的な例では、欧米では既存住宅の売買価格は、古い住宅ほど高くなる傾向にあります。住宅の資産としての価値が向上している証しと言っても良いでしょう。ローンで購入した金額以上に、資産価値が高まるようであれば、当然借りるよりも持ち家の方が得になります。

しかし、残念ながらこの点においては、日本はまったく逆の傾向にあります。なぜか減価償却的な考え方から、20~30年もすればタダ同然と見なす商習慣があるのです。

たとえば日本の住宅産業は年間15兆円強あり、住宅の資産が失われなければ毎年15兆円の資産が増えていることとなります。しかし日本にある約5000万戸の住宅にかけた約1000兆円の国民の資産が、30年でタダになるとすれば、1年間に33兆円失われていることとなります。つまり、どんなに国民が汗をかいて家を建てても、毎年18兆円の資産を失っている国となってしまいます。

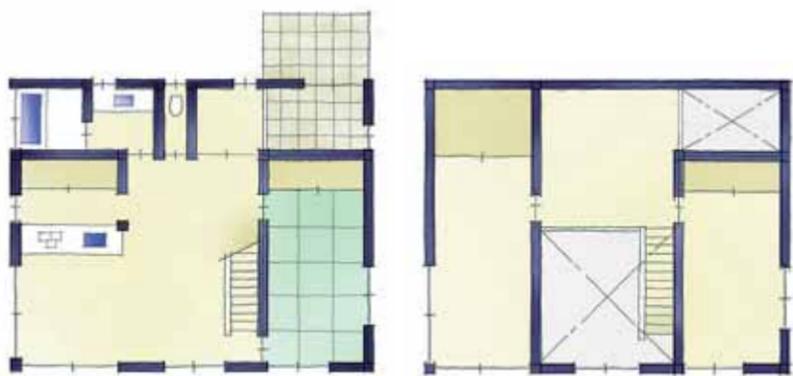
「もったいない」という言葉を世界に広めている国でありながら、住宅ではすっかり忘れてしまっています。地球環境を考えても、住宅を使い捨てにしているではありません。

住宅の資産価値が失われる制度の中では、これまでに蓄えてきた持ち家住宅の得もなくなり、借家の得と拮抗してきます。残念ながら現在の日本は悩まなければならない制度の中にあるということです。

逆にいうと国が豊かになるためにも、古い住宅の価値を認め、資産として守れる社会にしなければなりません。そのためには長期に使える住宅を建てることも大切な要素のひとつです。大きな災害があると、強度などの性能が心配になりますが、それ以上に長期耐用のできる住宅にしておくことが、建てて得をする最低限の条件です。ローンの比較でも、長期に使えるほどに借りるよりも建てた方が得することになります。

さらに、転売して他の人が買いたくなる家にしておくことも、資産価値を守るために必要なことです。買い手がつかないことには、資産としての価値を保つことはできません。そのためには、陳腐化しない伝統的なデザインを忘れないことです。つまり資産が失われられない制度の中で、建て方の中にも得する要素があるということなのです。

ミニナルマブリ



1階 20坪

2階 14.5坪

気持ちが切り替わる

大屋根から伸びてきた軒先の下に玄関がある。決して広くない。そして広くないが良い。そして決して明るくない方が良い。玄関は、外で出会った七難を忘れ去る場所である。

玄関で気持ちが切り替わって、家族と顔を合わせれば絵に描いたような幸せの風景がある。狭くて暗い空間を抜けるからこそ、吹抜の広がりや驚きとなり、コーナーサッシの明るさが新鮮に感じる。

そして、また閉ざされた和室は家の中の別世界を作る。



HABITA KENSO



住まいのオーダーメイド館

Decoration Mirror

「デコレーションミラー」は、カラーミラーを自由に組み合わせる新しい形のインテリアミラー装飾です。

ブラウン、グレー、ブラック、ブルー、の色付きミラーとクリアミラーのパーツを組み合わせることで、住宅の玄関・廊下、リビング、寝室から飲食店やホテルなどの集合施設のパウダールームなどの壁面をドラマチックに演出します。

サイズは3種類(150mm角、300mm角、150x300mm)で、面取り加工がしてあり安全にも配慮されています。

DIYでもできますし、ご依頼があれ

ば貼付け施工にも対応します。

市松模様の貼り合わせやオーダーミラーの周囲に貼るなど、他のインテリアとのコラボを楽しめるのも魅力。

ミラーによる広がり感とデザインがオリジナリティあふれる空間を演出します。

住まいのオーダーメイド館 403

東京都新宿区新宿1-2-1-1F
http://order403.com/

403

検索



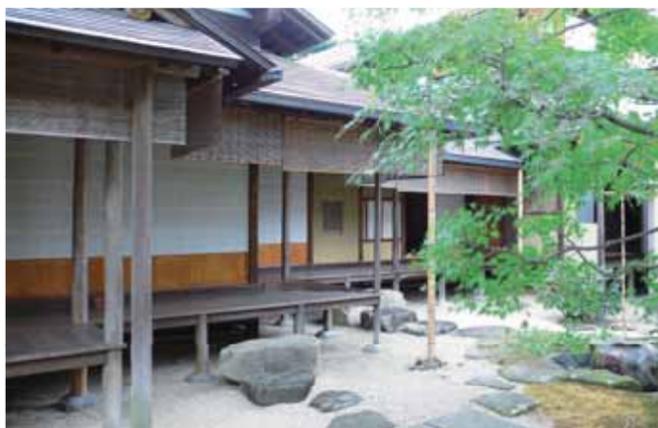
価格(各色共通) ¥15,750
サイズ:Sサイズ150x150mm(10枚セット)
施工費: ¥26,250/m²
403掲載商品No. G-0290_016

住まい文化の掬

建築がデザインの極み

琳派と言えば、江戸時代を代表する画風のひとつです。尾形光琳は、その装飾的大画面を得意とする琳派の始祖です。実は光琳は画家としての才能だけではなく、建築にも深い造詣を持っていた人でもありました。描いた絵画と一緒にいくつかの建築図面を残しているのです。

光琳の出身は京都の呉服商の次男ですが、画家として江戸に下り、後に京都に戻ります。この時に新築した住居の図面が残っています。もちろん元々が絵心のある人ですから、今の目で見て立派な建築家が残した図面のようなのです。この家の2階で『紅白梅図』が描かれたと言われます。



家全体の設計は、雁行した回廊がある少し複雑な形をしていますが、まるで絵画の遠近法をそのまま再現しようとしていた様に見えます。おそらく彼の頭の中には、完成パースどころか、今流で言う3Dの完成イメージができていたのでしょう。

さらに重要文化財となっている『茶室起し図』はどのような寸法の棧木を使うのかまで描かれていました。しっかりと詳細までデザインをしていたのです。この起し図とは、言わば展開図ですが、少し現代の描き方とは違います。まさに図形の展開図のように、平面図の四方に各面を立ち上げるようにして描かれています。

尾形光琳と言えば、日本画の大胆な構図を活かした屏風絵が多くあります。しかしこれらの図面を見れば、絵画という平面的な描写の中に、実は極めて立体的に物事を見ていたという事実が分かります。この光琳の図面を元に、静岡熱海のMOA美術館には、光琳の家を再現して建築されています。

住 健 住 康

じゅうけんじゅうこう

熱中症を防ぐには

猛暑で熱中症患者が爆発、というニュースが連日報道されています。総務省消防庁によると、全国で熱中症により救急搬送者数は6月の時点で約6,900人。これは昨年の6月の約3倍、死者も出ています。節電ムードから暑さを我慢してしまう傾向にあるのか、高齢者の搬送が目立っているといえます。

熱中症には3つの症状があります。

- ①熱痙攣…大量の汗をかいて水分補給をすることで、血液の塩分濃度が低下した際に足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴った痙攣が起きる。
- ②熱疲労…脱水による症状が原因で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがある。
- ③熱射病…体温の異常上昇が起きると、中枢神経が正常に機能しなくなることが原因で、あいまいな返事しかしない、言動がおかしい、呼んでも答えられないなどという意識障害の状態。

①、②の対処法は、まず体温を下げることです。屋外であれば木陰などの涼しい場所。エアコンの効いた室内などに移動させましょう。熱疲労の段階

になったら、足を高くして休ませます。衣服をゆるめて楽な格好をさせ、塩分を含んだスポーツ飲料などの水分を補給すれば通常は回復します。吐き気やおう吐が強い場合は、飲み物が気道に入ると危険なので、病院で点滴による水分補給が必要です。

③の熱射病については、生命に関わる状態ですから、体を冷やしながら救急病院へ運ぶべきです。冷却するには皮膚を直接冷やすより、全身に水をかけたり、濡れタオルをあてて扇風機にあてるなど、気化熱による熱放散を促進させるべきです。また、動脈を直接冷やすために首、脇の下、大腿部の付け根など、拍動に触れる部分を氷などで冷やすことも有効です。

住宅でもたとえば、寝室の冷房は就寝時ではなく、2時間程前からかけて冷やしておく工夫をします。

高齢者、乳幼児のいる家庭は特に家の中でも気をつけて、水分補給を欠かさないように心がけましょう。



Extreme という名の「新化」。



YAMAHA

SR-X Style Revolution X

●全長 6.25m ●全幅 2.28m ●定員 5名

メーカー希望小売価格 (艇体・エンジン+限定沿海セット価格) SR-X F70 ¥2,440,000 [(本体価格¥2,226,250+法定安全備品他価格¥97,560)+消費税¥116,190]

●価格は消費税を含むメーカー希望価格例です。地域・納入場所などの条件により異なる場合があります。●本体価格には搭載されるエンジンの価格を含みます。●法定安全備品類の価格には、エンジン関係諸費用・法定安全備品類・進水諸経費などを含み、オプション・検査登録関係諸費用などは含まれておりません。●仕様は平成23年7月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。●写真にはオプション装備品および撮影のための小道具を含みます。●製品の情報は www.yamaha-motor.jp/marine/ ヤマハ発動機株式会社 広報宣伝部 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

Green Earth

森林王国日本の歴史〈2〉

アメリカ先住民の語り伝えに、「自然とは祖先から譲り受けたものではない。子孫から借りているものだ」という言葉があります。日本の林業の歴史を振り返ると、先人が、後の時代の人々のために、心配りをしてきたことがわかります。

100年頃、木材需要の増加で森林の伐採も多くなり、洪水が発生しました。

300年、古墳時代になり、瀬戸内沿岸などで製塩が盛んになり、薪の需要が増大。

583年、造園技術とともに樹木の植栽技術がありました。奈良県明日香村の蘇我馬子邸跡。

607年、飛鳥時代に法隆寺が建造される。

676年、飛鳥川上流の草木採取を禁じ、畿内山野の伐木を禁じます。これは、森林伐採禁止令の最古の記録。

708年、百姓の宅地周辺における20~30歩の造林を許可。

722年、山野に焼き畑が広がる。

734年、「出雲国計会帳」の中の「桑漆帳」1巻が上進される。園地を上、中、下戸と差を付けそれぞれに桑は300根~100根以上、漆は100根~40根以上植えるように定

められ、それらは貢納されました。

749年、東大寺の建設開始。

759年、諸国の駅路に果樹植樹。

815年、平安時代には、畿内、近江、丹後、播磨諸国に茶の木を植えさせ毎年献上させる。

821年、大和の国司、大和一円にわたる滝田水辺の山林が持つ水源かん養、土砂崩壊防止の観点から水源の山林伐採を禁じられます。水源かん養林の初見。

866年、常陸国鹿島神宮造営の材料とすべきスギ4万株、クリ5700株を近傍空閑の地に植え、造宮備林とする。まとまった林木

植栽の記録としては、日本国最古。

955年、阿波国里浦海岸に風潮除を兼ねて魚つきの用に供するクロマツ林を仕立てます。魚つき林の初見。

子孫のために、盛んに植林がおこなわれています。



土間のあるHABITA

北海道帯広市、どこまでも広がる十勝平野。提携企業HABITA北楽工舎のモデルを訪れた。空と大地の間としての住まいをイメージしたと語る古田社長の言われる通り、外観には1階部分を大地をイメージした茶色、2階は空をイメージした水色にカラーリングが施されている。遠目からも目を引く特徴的なHABITAだ。

現在北海道では、高断熱高気密住宅が当たり前になりつつあり、しかしその高い技術から冬場でもオーバーヒートを起こしかねない。そこで今、北海道の住宅にも開放感の必要があるのではないかと考

えた。そしてたどり着いたのが広い空間を生かした「土間」と「中庭」だと言う。

一階部分全てに土間を施し、中央にはガラス張りの大空を望むことの出来る中庭。2階まで吹き抜けた天井がさらに開放感を演出する土間のリビング。そこには暖炉が用意され、散歩から帰った愛犬がそのまま窓際で日向ぼっこをする。

高気密住宅から解放された、新しい北海道の住まいへの提案がそこにあった。



住まいづくりにちょっと役立つドキュメントTV

HABITA/TV

HABITA/TV

詳しい内容は、HABITA/TVの4ch、『住宅実績』で紹介しています。



ふすまは日本の知恵

西洋のドアとは違って、日本の襖はとても便利なんだ。開けたり閉めたりする時に、スペースがいらぬ。開ければ間仕切にもなる。簡単に全部取ってしまえば、空間はもっと広がるんだ。

襖紙を張り替えればくり返し長く使えるし、少しだけ開けておくこともできる。いろいろな使い方ができる。日本の家のつくりって、知恵のかたまりなんだね。

私の家では、この暑い最中にリビングのエアコンは今年一回も使っていません。90歳近い祖母も一緒に暮らしておりますが決してやせ我慢ではありません。我が家には、

「ポーチガーデン」があり、熱線約50%カットのポリカーボネート屋根になっています。50%は簡単に言うと半日陰と言うことでもあります。そしてその上に、約90%遮光のクールシェード(日除けシェード)のシートをかけて、簡単な重石で固定しています。

まだまだあります。ガーデニングで4年近くかかりましたが、そのポーチの下を「アイスバーグ」と言うツルバラを一面に這わせました。植物の葉は水を含んで、その下を涼しくしてくれます。

デッキは間伐材を利用した木に時間をかけて高温処理し、水と栄養分を抜き半ば炭のようにした

「ポーチガーデン」が「ポーチ」があり、熱線約50%カットのポリカーボネート屋根になっています。50%は簡単に言うと半日陰と言うことでもあります。そしてその上に、約90%遮光のクールシェード(日除けシェード)のシートをかけて、簡単な重石で固定しています。

「タンモクウッド」のデッキです。天然木でも硬い木は熱を持ち熱くなりがちですが、このデッキは熱を持ちにくいので過ごし易くなります。

庭先は塀をやたらせず、本物の木のように見えるアルミ製の「エバーアートウッド」でスリット状に建てたフェンスにすることで風が通ります。また景色の良い方向には、植物が絡みやすい「トレメッシュフェンス」で囲い、そこにはツルバラや、家内が丹精込めて育てるカボチャがなり、荒っぽく言えばジャングルのようなのです。風の道をつくり、落葉樹を中心に樹木を植え木陰を出来る限りつくり、家庭菜園を皆でやっています。こんな姿、どこかで見たこと有りませんか？一昔の日本の暮らし方です。

私たちは季節や自然に恵まれた日本人なのです。



エコガーデンについて

今年の夏の暑さは今までと違い、特別な気がします。特に戦後の復興の日本を経験し、「もったいない」を大事にされてきた方々にとっては、わが身を削って我慢する姿は心痛いぐらいです。しかし、便利な暮らしに慣れきた私たちにとっては、今、暮らしを見直す絶好の機会であるかもしれません。



「ポーチガーデン®」 家と庭をつなぐ、もう一つの部屋。

詳しくはホームページへ!



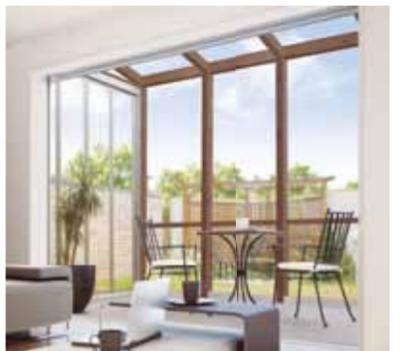
折戸パネル仕様で、フルオープンにすれば開放的なガーデンルームに。



ライティングをプラスして、夜でも快適なつるぎの空間をつくれます。



屋外で気軽に家族団らんが楽しめるもう一つのリビングとして。



やすらぎのある空間づくり
株式会社タカショー

和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017

お客様サービスセンター 0120-51-4128

